

会 議 録

■会 議 名	令和 6 年度第 3 回神河町子ども・子育て会議
■日 時	令和 6 年 12 月 3 日(火) 18 時 30 分～
■場 所	神河町役場本庁舎 3 階 第 3 会議室
■進 行	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 寺前保育所の定員変更について【資料 1】 (2) 第 3 期神河町子ども・子育て支援事業計画ならびに神河町次世代育成支援対策推 進行動計画案について【資料 2】 4 その他 5 閉会
■協議内容	○会長挨拶 今日は、事務局から数値を盛り込んで確認ということ。今までのまとめなので、スムーズに進むようご協力をお願いしたい。 神河町の地域創生総合戦略の基本目標で、希望をもって結婚・出産・子育てできる社会を実現するという取り組みが掲げられている。ちょうど、この子ども子育て会議とリンクしている。地域創生と石破首相が言われているが、20 代の女性をいかに確保するか、女性にポイントを絞って施策を進めていくそう。神河町では、女性と言っている場合ではなく、若い世代が少ないので、あえて女性という言葉は入れていないと思う。 国の施策と神河町の施策が重なるようで重なりにくいところがあるのだが、いかに神河町らしい計画が進められるか。皆さんの考えをこの会議で述べていただいて計画に反映してほしいと思う。 ○協議事項 (1) 寺前保育所の定員変更について ○事務局 説明 ○委員 保育の世界の中で 2025 年問題というのがある。0-5 歳の子どもが減少するといわれている。寺前だけ見るとその流れが早めにきている。2 年後が丙午の年が来る。学生のアンケート調査では丙午の年に子どもを産むことを避けるという回答が 7 割あったそう。2 年後、どういいう影響があるのか不安。私たちの世代の丙午の年はガクンと減っている。現代も若干の影響があると思う。そのような現状、今後の動向踏まえると、このタイミングで利用定員の変更をお願いしたい。 ○質疑

	委員長 何か質問等あれば。無いようですので寺前保育所の利用定員の変更を子ども子育て会議として承認する。 (2)第3期神河町子ども・子育て支援事業計画ならびに神河町次世代育成支援対策推進行動計画案について ○事務局 説明 経過報告。 前回の素案から、追加・修正した内容の報告。 新規事業の説明。 ○質疑 委員長 何か質問ありませんでしょうか。地域創生でファミサポが柱に入っている。計画値を1人にしてはどうかと提案したが、実施見込みが立ったら数字を入れ込むとのこと。 委員 「こども誰でも通園制度」について、幼稚園は含まれるのか。 事務局 幼稚園は3歳からだが、「こども誰でも」は3歳未満児が対象。可能なら受け入れていただく。困難なら、他の事業所という形。これから調整していく。3歳になったら利用できないということ。 委員長 幼稚園児は外れますよね。調整というのは、保育所が対象か。 事務局 今は保育所が対象だが、一時預かりなら幼稚園でも施設として受け入れ可能かどうか調整する。0～1歳は難しいと思う。 事務局 2歳児で未就園児活動をしているのでそのようなイメージで。 委員 兄弟関係あれば需要があるのでは。 委員長 幼稚園が入るということを学習しました。 委員 型が2種類ある。定員の空きを利用するものと最初から受け入れる型。幼稚園はどのような型になるのか。 事務局 幼稚園は一般型になる。定員の空きを使うのが余裕活用型。対象者用に配置するのが一般型。 委員 保護者支援ができるようになるこの制度はいい。 委員長 余裕型は今の預かりが、もう少し使いやすくなるという感じか。 事務局 幼稚園は年齢別にクラス分けしているので、そこに月10時間のこどもが入るのは、クラス運営として厳しいので、一般型になると思う。 委員 これから検討と。 委員長 この制度をどのように利用できるのかの結論はいつ頃出されるのか。 事務局 調整していかないといけないので。 委員長 今日(の会議)は現役のお母さんたちがいないので、この制度についてご意見聞けないのが残念。 事務局 制度の中身がまだ出ていない。今、来年度予算を組んでいるので予算が出る時期までがリミットだと思う。
--	--

	委員長 10月くらいには、制度が固まれば。利用に対する希望調査は行うのか。 事務局 特に行う予定はない。 委員長 どんな場面でどういう利用をしたいかなど。曜日のニーズとか。ニーズにあっていないと保育士の確保の点でしんどいのかなと思う。 委員 寺前保育所は余裕型しかないのかなと。 委員長 神崎保育園はいかがですか。 委員 やれるかどうか分からないが、最終的に保育士の数になる。保育士がいない状態。 委員 既に淡路市でテストをしているが、保育所ではやっていない。 事務局 この会議は年1回開催。できれば来年度のこの会議で確認や報告ができるよう調整したい。 委員長 この制度はこども家庭庁の目玉だと思うが、調整までが大変そう。子育て相談や健診等で利用者アンケートを入れ込んではどうか。 健康課 事業と一緒にすれば大丈夫です。 委員長 アンケートの回収率もあがる。今のニーズに合うようにしていけないといけな。調整をよろしくお願いしたい。他に何かありますか。新しい事業についても質疑ありませんか。無いようですので協議を終わります。第3期神河町子ども・子育て支援事業計画並びに第3期神河町次世代育成支援対策推進行動計画について承認したいと思います。無いようですので承認いたします。 本日の会議の議事はすべて終了しました。 事務局 ありがとうございました。2年間ご協議いただいて良いものになった。計画に沿って進めていきたい。 ○その他 事務局 説明 今後、資料編を追加して各委員へ配布。議会に提案して4月から事業実施。令和9年度に中間見直しを行う予定。 ○閉会挨拶（入江教育長） 2年間にわたり、ありがとうございました。何とか、形あるものができた。これが、ここだけの形では意味がない。実質今後5年間着実に進めていく中で、皆さんと一緒に考えていきたい。中間見直しがあるので、成果・課題をしっかりと検証していきながら考えたい。年間の出生数が下降、人口も1万人を切っている状況としては苦しい。何とか人生の一番基になる0～5歳の子どもたちを大切にしたい。 幼稚園・小学校・中学校では、『カーミン読書』に取り組んでいる。読書週間の中で本に親しんで、できたらたくさん読もうということで、達成できたら表彰している。幼稚園は、読み聞かせをしてもらってもいいし、自分で読んでもいい
--	--

	ことになっている。 表彰状も私が毎年行って子ども達に渡していたが、昨年からカーミンに来てもらって手渡すようにした。カーミンから表彰状をもらった子どもたちは大喜び。その屈託のない子どもの姿を見ると、この子たちは神河町の宝だ、この子たちを大切にしないといけなと感じた。ぜひ子どもたちのために頑張りたいなと思う。皆様のお力添えをお願いしたい。2年間ありがとうございました。
--	---